

嘉麻市の公共交通の計画目標に対する事業イメージ

目標 1 嘉麻市の活性化政策を推進する安心・安全な公共交通の構築

嘉麻市では、定住促進や観光活性化、新庁舎の整備、地域の安心・安全確保に向けた教育・福祉政策等を推進しており、地域公共交通政策と各政策との連携により、嘉麻市の活性化に向けた相乗効果が期待される。

そのため、これらの政策と連携した公共交通網の再整備や、新たな公共交通路線の検討、公共交通への転換・利用促進に向けた事業を計画する。



目標 2 利便性の高い交通環境の構築

現在、合併以前の公共交通体系を維持しているが、それぞれの地域で運行形態やサービス水準が異なり一部地区では路線は通っていても利用できない人がいるほか、交通空白地も点在している。また、市民の移動ニーズと公共道路線の不整合があり、公共道路線の見直しや乗継利便性の改善が必要となっている。

そのため、市内の公共交通運行体系について全般的な見直しを行うのに加え、市内外を結ぶ公共交通路線の確保や、交通結節点の設置・乗継利便性の改善に向けた事業を計画する。



目標3 分かりやすく利用しやすい公共交通の実現

公共交通の利用性を高め、公共交通への転換や公共交通利用の増進を図るためには、公共交通運行体系の改善と連携した利用環境の改善も必要である。

そのため、車両やバス停の分かりやすさや利用しやすさの改善を行うとともに、西鉄バスや JR も含めた公共交通全般について、マップやホームページ等の作成等、情報提供の充実を図る。

⑧ 誰もが分かりやすく利用しやすい公共交通体系の整理

- 1) 利用ニーズや目的に的確に応じることができる公共交通体系の整理
- 2) 市バスのカラーリングの統一・分かりやすいバスの行き先表示等運行車両の改善

⑨ 車両やバス停のバリアフリー化の推進

- 1) 車両更新時におけるみんなにやさしいバス等の導入の推進
- 2) 老朽化したバス停等の待合環境の整備

⑩ 分かりやすい情報提供

- 1) 官民の区分なく、わかりやすい情報提供（公共交通マップの配布等）

目標4 持続性のある交通体系への転換

嘉麻市の移動サービスに関する財政負担状況を改善するためには、非効率な運行が存在する現在の運行体系の見直しを行うとともに、収入の増加策についても検討・実施が求められる。

現在の公共交通について役割を明確にした上で、重複する路線や安定的な運行の支障となる路線の見直しや、財政状況・利用状況を考慮した運行体系の選択等を行う。また、公共交通利用促進による運賃収入の増加だけでなく、広告収入等の運賃収入以外の収入確保策についても検討・実施する。

⑪ 既存路線の見直しによる運行効率化

- 1) 幹線・枝線の役割分担と重複する路線の見直し
- 2) デマンド型運行等を含めた最適なサービスの提供を検討
- 3) 公共交通に対する財政負担を考慮した運営方針の検討
- 4) 安全・安定的な運行の支障となる路線の見直し（狭隘な道路等の回避等）

⑫ 運賃収入以外の収入の確保

- 1) 市バスラッピングや車内広告等による収入の確保

⑬ 公共交通利用者の維持・拡大

- 1) 地元商店等と公共交通の連携による商業の活性化及び市バス利用者の増進
- 2) 公共交通をみんなで維持する意識の醸成
- 3) 運転免許自主返納者に対する公共交通利用促進策の導入【再掲】